



「細井和喜蔵ものがたり」が  
令和5年度文部科学省・教育映像等審査社会教育用（教養）に選定

読み聞かせボランティアグループ

# マザーグースの会

## 絵本を通して 豊かな心を 育んでほしい

「おはなし会のあとに、子どもたちからもらう感想が楽しみ」と話すのは、読み聞かせボランティアグループ「マザーグースの会」代表の新田雪江さん

山田（下山田）と白井早苗さん（下山田）。

当時、旧野田川町の図書館では読み聞かせがなかった。「小さな子どもたちに読み聞かせをしたいね」となり、図書館を利用して子育てをしているお母さんたち呼びかけ「マザーグースの会」を結成。結成後は、月に一回、公民館でのおはなし



### ● マザーグースの会

1999年に絵本好きな母親たちが集い発足。絵本を通して豊かな心を育んでほしいとの思いから、小学校・図書館・高齢者施設などでおはなし会を開催。町の物語を残すため、2011年、フランク・エバンスさんの手記の翻訳「憎悪と和解の大江山」出版を機に、「エイエンノヘイワ」の紙芝居を、また、昨年、与謝野町出身の作家「細井和喜蔵」の生涯をたどった紙芝居動画を作成。現在10人の会員で活動中。

会から活動を始め、今では町内の小学校を中心に、子育て支援センター（野田川）や図書館などで読み聞かせをしている。一方で、町の物語を「紙芝居」として残していく活動にも着手。2011年には、今も続く与謝野町と英国・ウェールズのアベリスツイスの交流のきっかけとなった故フランク・エバンスさんの話を、子どもたちにわかりやすく伝える「エイエンノヘイワ」を制作した。

結成から25年——。この間、依頼があればどこへでも荷物を持って行き、紙芝居の上演を続けてきた。しかし、時の流れとともに徐々に読めなくなることに危機感がつのり、町の物語を声と音楽を録音し残していく作業を開始。昨年は、「エイエンノヘイワ」に英語字幕や当時の写真でつづった解説動画を追

加した紙芝居動画を制作。また、与謝野町出身の作家でありながら、あまり語られることがなかった細井和喜蔵の生涯をたどった「細井和喜蔵ものがたり」の紙芝居動画を、藤原和子さん（石川）を加えた3人で完成させた。本作品は、文部科学省から教育上価値が高く、学校教育や社会教育に広く利用されることが適当と認められ、昨年12月に「令和5年度教育映像等審査社会教育用（教養）成人向き」に選定された。地域のボランティア団体の活動が、教育

映像として認められることは難しいという。「構想を練りだしたのは8年前。この間、多くの協力が得られたことと、和喜蔵さんに関する本が出版されなければ完成しなかった」と充実した表情を浮かべる。紙芝居動画の制作はこの2作品でいったん区切りをつけ、今後は「小学校でのおはなし会を継続していきたい」と話します。

『町の物語を残したい』  
会員たちが残した2つの物語は、「絵と声」とともに未来へと受け継がれるだろう。

### マザーグースの会さんからのお知らせ

細井和喜蔵ものがたり

## 制作発表会を開催します

### ● 日時

3月9日（土） 午後2時開場  
午後2時30分上映

### ● 会場

## 野田川わーくぱる

視聴覚室（2階）

### ● 内容

与謝野町出身で「女工哀史」の作者 細井和喜蔵の生涯をたどった紙芝居動画を放映します。和喜蔵の功績が社会や現代を生きるわたしたちにどのようなつながっているのかを、ぜひご覧ください。

※ 与謝野町・与謝野町教育委員会後援事業

